

どうしたの…?
ハル…

もっと
ちゅーしようよっ

……



牙那……

ん…っ



え〜?
全然いいじゃんっ

お互い好きな人の
姿になって
色んなこと
できるんだよ?



だってさ…
今キスしてる相手って
自分自身でことだろ…?

いくら女の姿
になったって言ったって
何か複雑でさ…



っていうか
ハルは今日から
「冴那」なんだから

学校では
女子制服着なきゃ
いけないしねっ

俺がスカート
穿くってことか…?

「俺」なんて
言葉つかっちゃ
ダメだよ♪

ねえ…ぼくの
おまん○
キモチいい?

っていう事は
女物の下着もつけなきゃ
いけないってことか…



なあ…
俺はいいとして

お前はその体で
男だと言いつけるのは
無理があるだろ…?

大丈夫だよっ
僕が長年
コスプレで培った
技術力があるからね

男装なんて
女装より
超かんたんだよ

でもハルの胸は
メッチャ大きいから
隠すのちよっと
大変かもね

大きいって…

ドキ
ドキ

なあ…牙那
やっぱこんなこと
やめないか…?

俺が牙那の
モノマネなんて
絶対無理だよ…

うう…っ

はあ？さっき
女になるって
言ったじゃん！

約束が
違うよ！

だってさ
女になるって言っても
俺が牙那になるなんて
言っていないし…

俺は男として
女のお前を
愛したいし…

いいじゃんっ
お互い好きな
姿になれたしっ

ハルは僕に
なれてうれしく
ないの？

うれしいけど…
別の事だったら
何でも協力する
からさ…

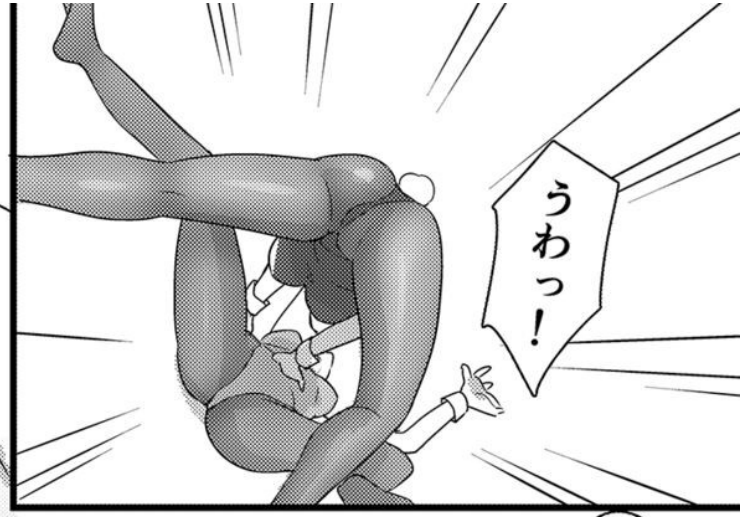
ダメ…
かな…?

ふりん…
何でも協力して
くれるんだ…♪

なら
条件付けてあげる



3回勝負だよ
ハルっ



うわっ！



そしたらさっ
僕と勝負しようよ！
ハルが僕以外の
女の子にときめいたら
負けっ

簡単でしょ？



やっ
柔らかい…



勝負は明日一日！
勝った方は負けた方に
何でも命令できる！
おもしろいでしょ？

まままっ待って待て！
目の前にいるのは
俺だぞ！

なんでこんなに
ドキドキしてんだよ！

ねえ
聞いているの？

胸が…
胸の谷間あ！

わわわわっ

わっ分かったから
胸を押し付けてくるの
やめろって！

何？
もしかして自分自身に
ドキドキしてるんじゃないのっ？

ハルって
もしかして
ナルシスト？w

バカ
そんなんじゃない
ねーし…

それじゃ
俺が勝ったら
俺は男に
戻るからな…

いーよーっ

ほんとにいい？
その調子じゃ
この勝負
僕の圧勝かなあw

ハルは絶対
僕には勝てないしっw

ふふ



ちょっとちよっとつ
牙那あ！
アンタ今朝
ハルと一緒に登校
してたみたいじゃん！

もしかして
牙那ちゃん
ハルちゃんと本当に
付き合うことにな
ったの？

あっ…うん…
僕たち付き合う
ことになったから

報告が遅くなって
ごめんねっ

そっかあ…でも
二人とも付き合い
出したなら
もう一緒に遊んだり
できないね…

ううんっ
僕たちそういうの
気にしないから
大丈夫だよっ

うおー！
マジかっ！

おめでとう！
牙那ちゃん！

それにさ…

二人とも
協力してもらいたい
ことがあるし…



アイツら…
何話してるんだ…

すっげえ
気になる…

ったく…
牙那のやつ
別に喋らなくて
いいのよ…



昨日三回勝負って
言ってたけど…
どういふことなんだ…?

昨日の牙那の
感じだと
ヤバイかも…



とにかく…
牙那以外の女の子
にときめかない様にして
この勝負…
絶対勝たなきゃ…



ええ？
あたし
かわいい？

まぢやばあ

うそおww

この勝負に負けたら
絶対牙那の要求が
エスカレートして行って

いつの間にか
身も心も女にさわらうので
超怖いんだけど…

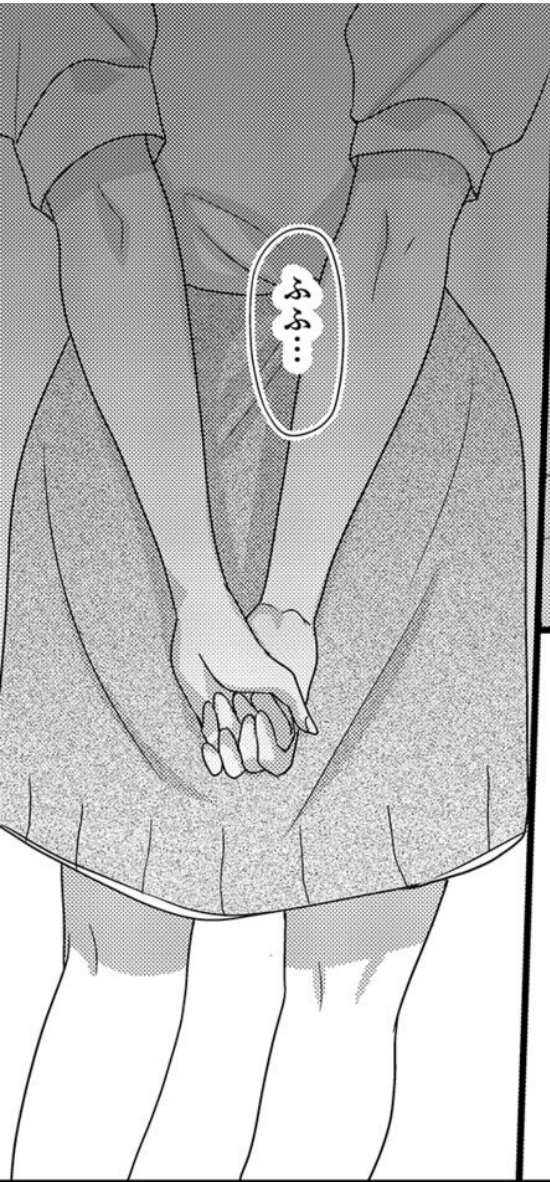
俺が
女子の生なんて
ことになったら…



やべつ
想像したら
ドキドキして
きた…っ



ふふ…



ってか
5時間目も
終わったけど...

牙那は何も
してこないのか...?



アイツ：
朝の調子から一変して
何も話かけてこないし...

何考えてんだ...?
すげえ怖いん
だけど...

ほくらん



ハル！
牙那から聞いたぞ！

二人とも
付き合いだした
みたいじゃん！

よかったなっ
お似合いの
カップルで
うらやましいよ！

うわっ
早見！



へっ、



えっ？

でも牙那の奴
羨ましいな…
私もハルの事
好きだったのに…
なんでハルは
私を選ばないかなあ



なあ…
私が二番目で
いいからさ…
私とも…
付き合ってよ…
牙那より胸大きいし
モテるんだよ？私…
ハルに釣り合う
女になるからさ…



ハル…ww
ふはっ

ふふ…



ちよっ！
まてまて！
俺そんな話
初めて聞いたぞ！
それにお前
彼氏がいるんじゃ…



へ…？

はいつ
僕の一勝目

ハル
ちよろしいW

早見っちに
ハルが昨日飲んだ
「女体化の薬」
を飲んでもらったのっ

それで僕たち
入れ替わったんだっ

へっ？

スゴいでしょ！
僕の薬っ

洋服を着替える
コスプレじゃなくて
体を着替える
コスプレ！

これで
色んな女の子に
なれるんだよ！

はあ？
そんなことできるなんて
聞いてねえぞ！

あと一勝で
僕の勝ちだからねっ

女の子が
「女の子になる薬」
を飲んだって
別に体の変化は
ないんだけどね

でも表皮の上に
「女の子の皮」
が出来ることは
変わらないから
それを着たんだ！

そっ
そんな…

あつ
早見っちには
洗脳の薬も
飲んでもらった
からっ
大丈夫だよっ！

ダメダメ！
心が揺らいだ
ハルがいけないんだよ！

今のは
ノーカンだ！

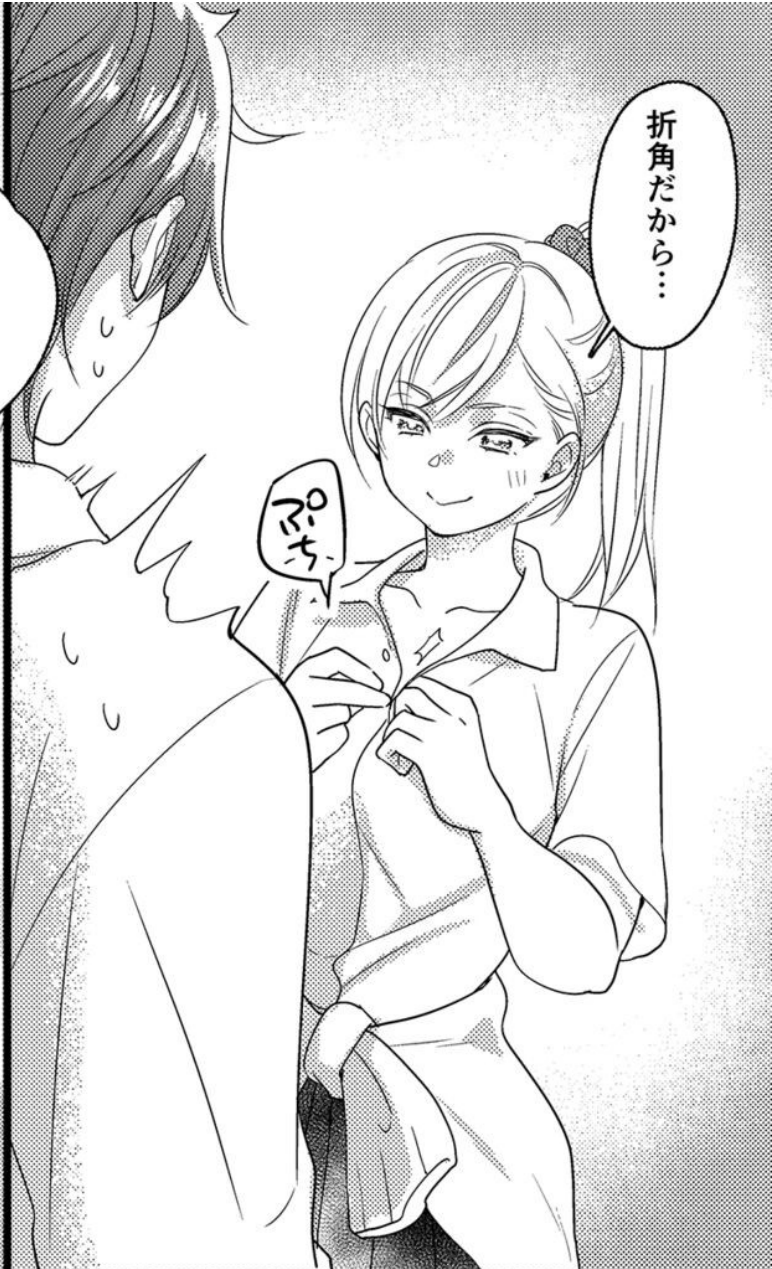
ふふふっW



ほらっ
見て見てえ
早見っちの
生チチ

さすが
モテモテの早見っちっ
大きくて乳首の色ピンクで
ちよ〜きれいだよね

ばっバカ!
早く仕舞えって!



折角だから…

アホ
チ



じゃ〜ん!
生脱ぎの
セクシーパンツ
ハルこういうの
大好きでしょ? W

ばっ
ばっ
ばか!



なんで〜?
いいじゃんっ
誰もいないし W

そうだっ
ハルにイイもの
あげる



将来は
こんなパンツ
穿いて
僕の事
誘惑しないと
いけないからね

ぐ
んっ!
んっ!
んっ!



まって
離せて!

早見っちの体
すべすべで
ムダ毛もなくて
凄くいいよ!

ほらほら
僕がもう一勝すれば
この体になるんだから
よく覚えといてね



そうだっ
ハルが負けたら
早見っちの体で
「女子校生」を
修行しなよ!

早見っちがハルに
なればいいし
学校の中でも
女の子同士なんて
ステキじゃない?



ふふ…
次は誰に
なろうかなっ

楽しみに
しててね



さあハルが女の子に
正真正銘僕の
彼女になるまで
カウントダウンが
始まったよ

かっ
顔を近づけるな!

六時間目

ふざけんなって…
あんな
反則だろ…

このままじゃ
本当に女にされち
まうじゃねえかよ…

くそっ
どうすのや
いいんだ…

何で俺が
女なんか…
アイツ…

よしっ
柔軟終わったら
順番に泳ぎだせえ！

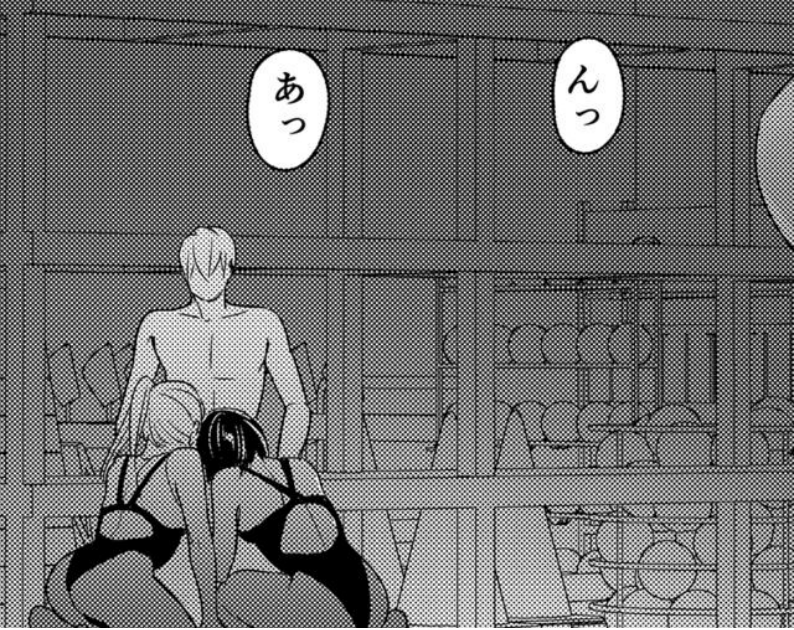
幸いクラスの連中は
水泳の授業中だから
バックしるなら
今のうち…

これ以上
学校にいると
絶対負ける
気がする…

牙那がない
うちに
とっとと
バックしよう…

あっ

んっ





二人とも：
そんなに焦らなくても
大丈夫だからw

二人にちゃんと
中出しして
あげるからねっ



そう…
いいよ…
夏希ちゃん…
上手にできるよ
うになったね




な…なあ…
冴那…
い…入れて
いいよな…


ふふ
ダメですよ
まだ夏希ちゃんが
しゃぶってるん
ですから




ホント
二人とも…
かわいいですよ



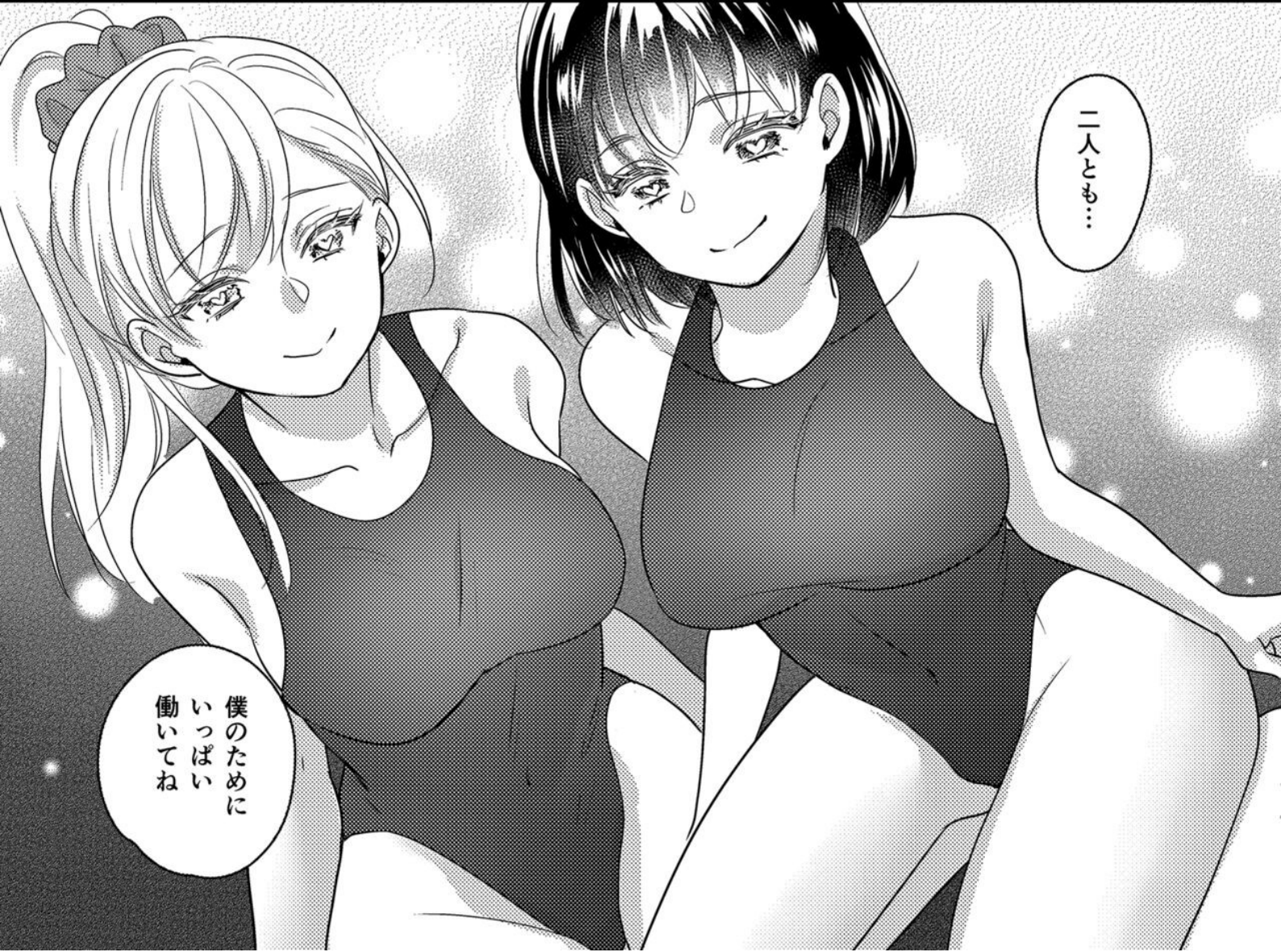
さあ：
そろそろ授業が
終わっちゃうから
行かなきゃ…



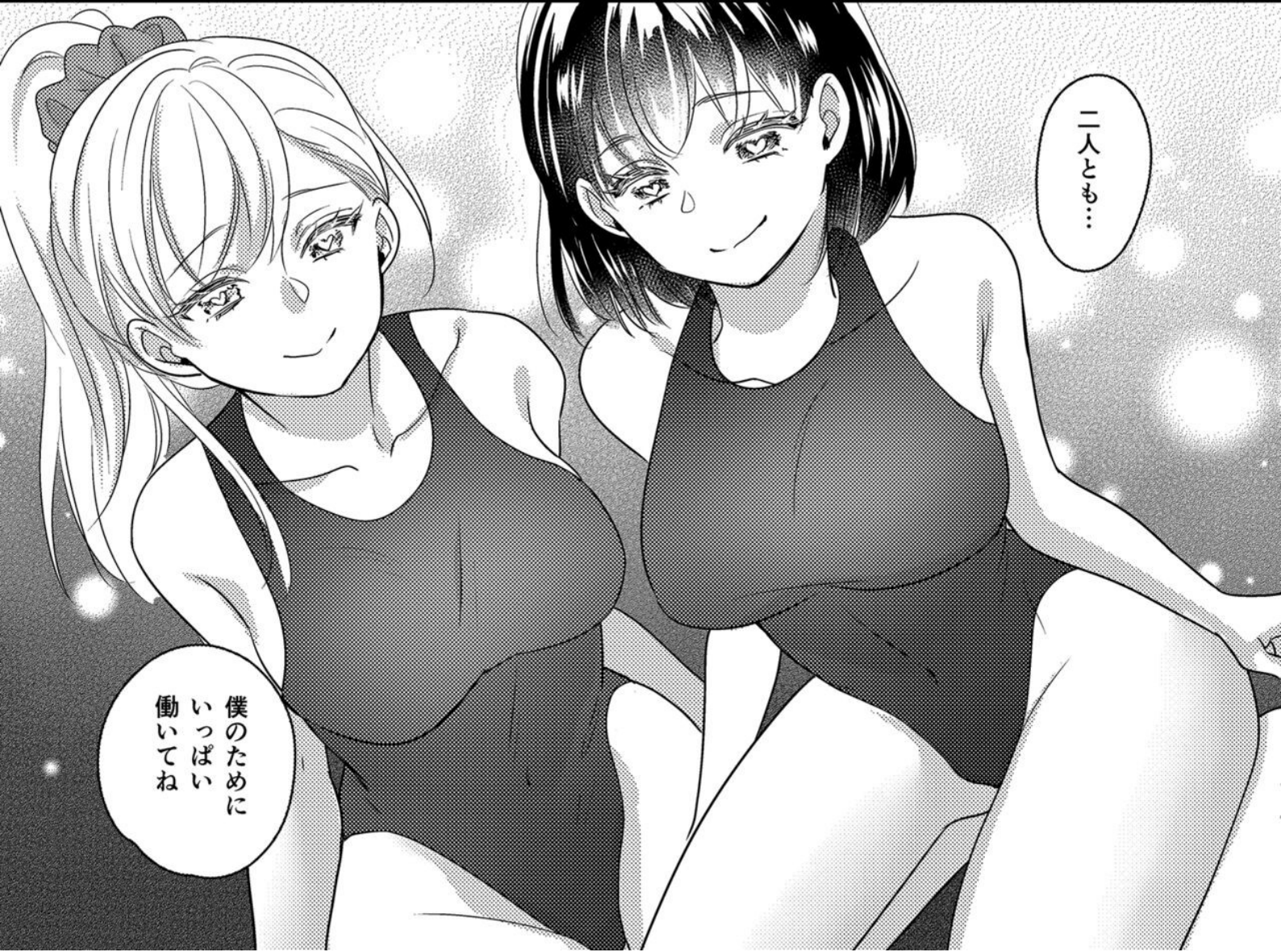
ここから先は二人に
手伝ってもらわないとね…



もう少しでハルが
僕の物になるよ…



二人とも…



僕のために
いっぱい
働いてね



彼女ほったらかしにして帰るんかよ!

ハル君：まさか帰るんじゃないよね…?

サイテーな奴だなお前!



はあ

はあ…



おっいハル君どうこいくのかなあ?



あんな可愛い彼女がいんの

いい度胸してんじゃないかっ

ひゃあっ!



彼女の気持ちとか考えたこと無いだろっ

説教してやるからちよっと来い!

まっ待て! 離せ!

まさか…どっちかが冴那なのか…?



や…めろ…

だったら私が…
色々と教えて
あげようか…? W



あはっ
そうか W

お前童貞だから
牙那を満足させる
自信ないんだろ W

なっさけない
男だな W



ふふ…

は…
離せ…っ

ち…
違う…

二人とも
牙那に
洗脳されて
るんだ…



待て!

逃げんな!
ハル!



早見っ
ごめん!



こんなことまでして
勝ちたいのかよ…

アハハ



うわっ！

ば

うすあえず
じじじ…こ

ハルのヤツどこ
行きやがった！

ヤバい…
絶対
ヤバい…



ん…っ？



せ…先生…
許してえ！

いたっ！

ちよつと
こっちこい！
そこに正座
しろ！



お前は…
確か具合が悪い
とか言って
授業サボってた
奴だな…っ

ふえんふえい
な…なんふえ…



本当に
具合が…

授業をサボった
訳じゃないんです…



えっと…
先生…



持ち物検査するから
着てる服
全部脱げっ！

まさか…
キケン薬物とか
持ってないだろうな…

なんか
怪しいなお前…

えっ…？



ホント
困るのよね

最近は学校内に
キケン薬物とか
持ち込んでるなんて
噂もあるのに…



えっえっと…
ですから本当に…



なんだ
教師の言うことが
聞けぬというのか!

ますます
怪しい奴め!

ちっ
ちが:
ごめんなさい
脱ぎますからっ



なんだ...?
どうした
早く脱げ!

だ...だって...
先生...
脱げないです...



ひゃあ!



ほら早く
脱ぎなさい

くす...



これで
いいですかっ！
先生！

何も変なもの
持ってないでしょ！



何言ってるの…W
ちゃんとパンツも
脱ぎなさい…W

何も隠せない様に
直立不動でね♪



なんだ…

いま奥の方で
物音がしたような…



何でオレ…
先生の前で素っ裸
になってるんだよ…

くそ…っ
こんなの牙那の
せいじゃねえか…

恥ずかしいギョ…



えっ!?!



先生を洗脳するの
結構大変だったんだよ
せんせー超厳しいしっ

でもそのお陰で
こんな素敵な体と
「体育教師」という地位が
手に入ったけどね…

僕の希望は
ただ一つ…
ハルがずっと
魅力的な女の子の
姿でいてほしいだけ…

女の子なる皮を
一生脱がないで欲しいんだ…

さて…

僕の希望を
伝えるね…

ちよっ
ちよっと待てっ！

おっ…
お前本当に
冴那だよな…？

おっ…
俺に何でそこまで
執着するんだよ…
こええよ…

それと…
今日から女の子に
なるんだから…
オレなんて
使っちゃダメ…

ちゃんと
「私」って
言わないとね…っ

執着するって
あたりまえじゃん…w

僕…ハルの事
大好きだもん…

ハルに命じる！

今すぐここで
オ○ニーしろ！

キーン

あひゃあ
きもちいい

あつ…あれ？
なん…で…？

体が
言うことを
聞かない…っ

洗脳の薬…
切れたんじゃ…

ざうんねんっw
僕が簡単に
洗脳を解くわけ
ないでしょw

逃げ出さないように
ちよっとした保険



まじかよ…

僕の理想の
女の子でいてくれれば
もう洗脳なんてしないよ…
ハルには本心から
僕の事好きになって
もらいたいし…

でも安心して…
大好きなハルには
もうこんなこと
しないから…

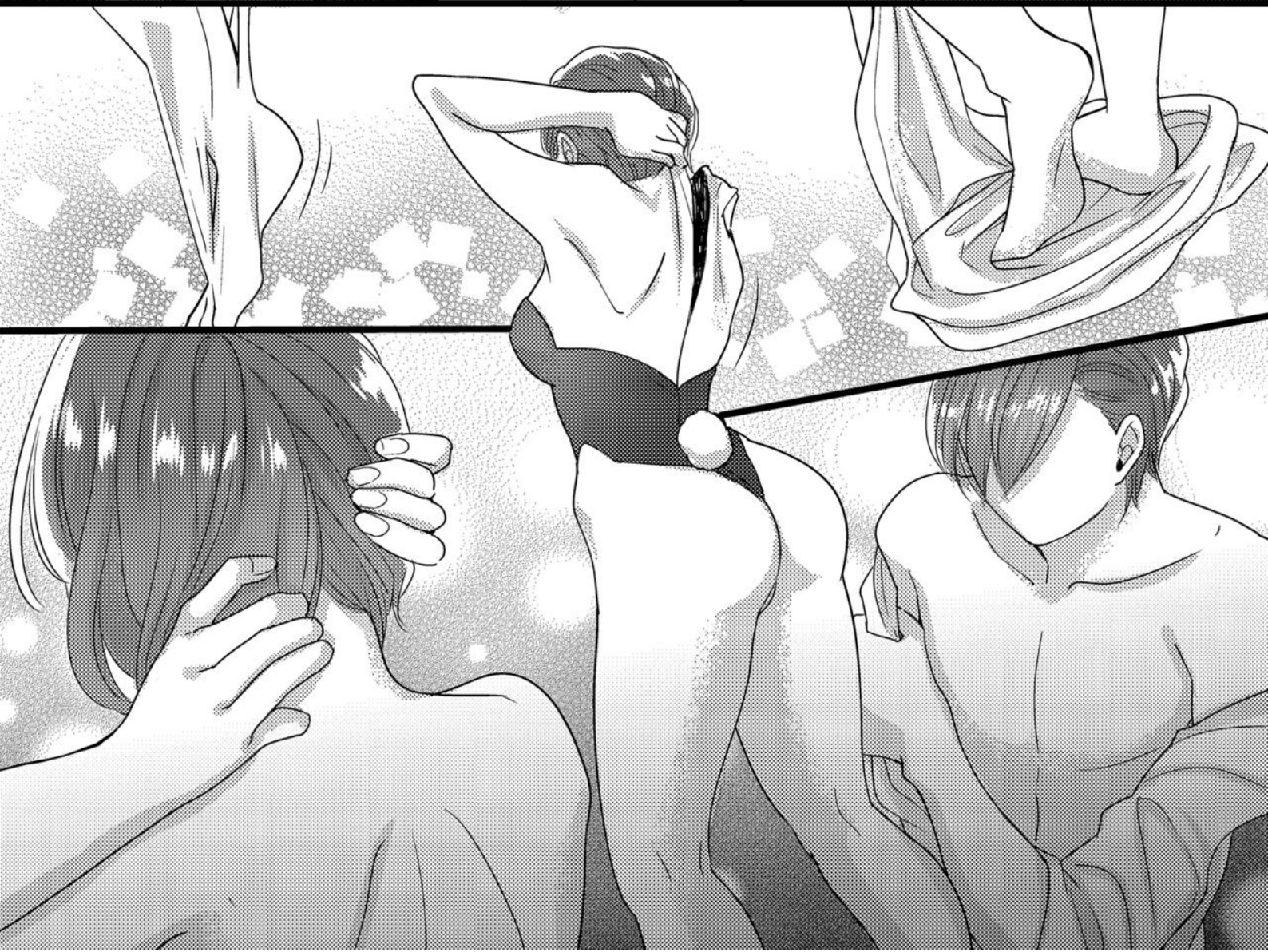


くす…



着て…
くれるよね

だから…





ん〜
いいけど…
パニーは飽きたかな…

今度は
これ着てよ…



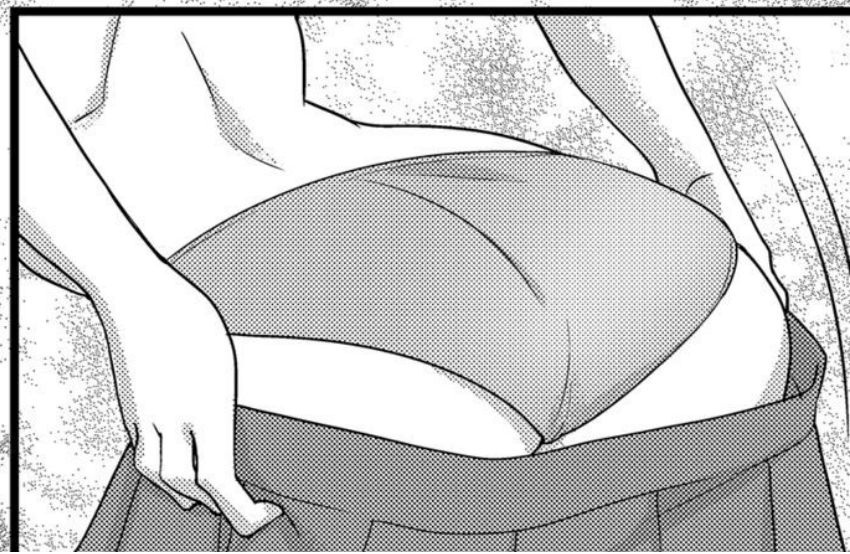
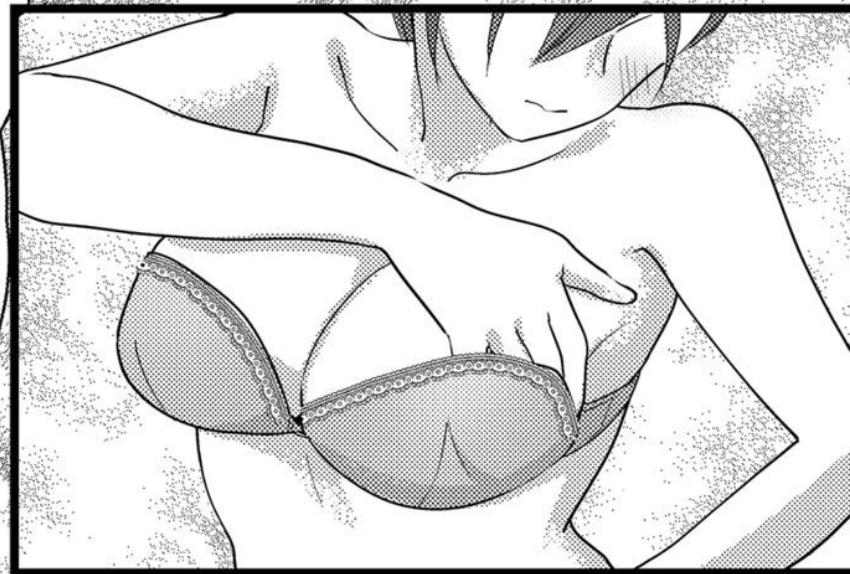
き…
着たけど…

これで…
満足したか…?



悔しいけど
ハルは「美〇女」って
感じだから
何でも似合っちゃうよね〜

あ〜っ♪
やっぱりハルは清楚系だから
「聖桜が丘女学園」の
コスプレ超似合う〜♪





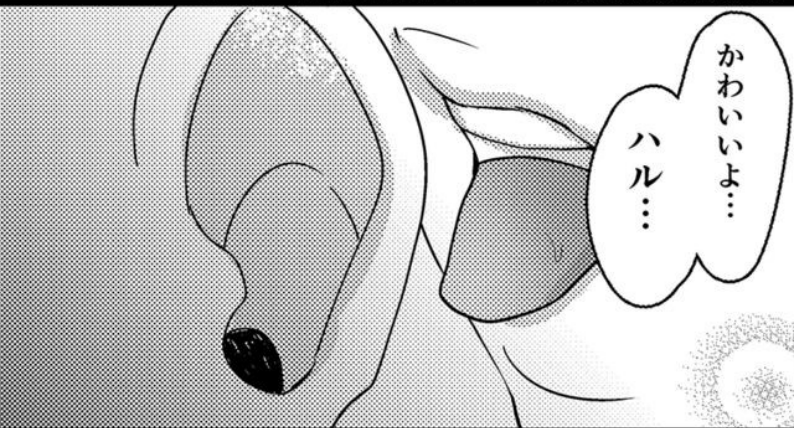
あ…っ

抱きしめると
折れちゃいそうなくらい
華奢なカラダ
なのに
こんなフカフカな
おっぱいが付いてるんだよ



うわっ
やめ…

ハルだって
この大きくて
キレイな胸が
自分の物だって思うと
ドキドキするでしょ？



かわいいよ…
ハル…

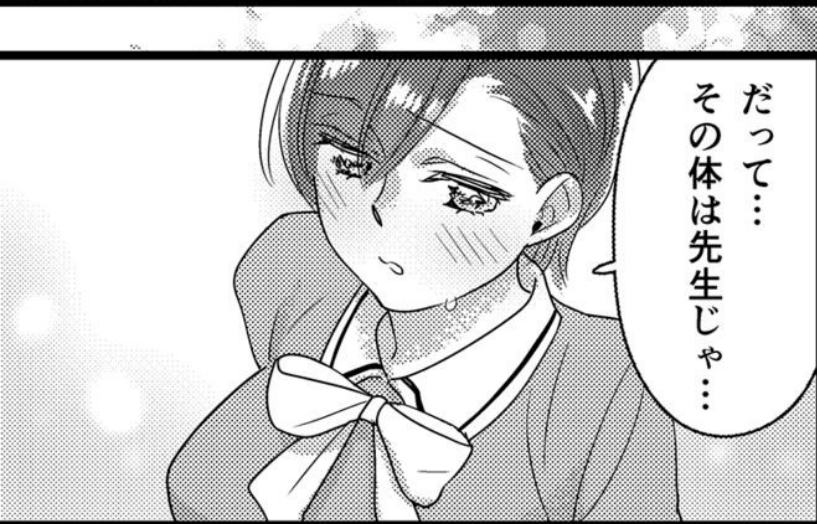


何ハルw
うなじがそんなに
いいの？w

牙那の…
先生の指が
肌に触ったただけなのに…っ
全身が火照って
敏感になってくる…







だって…
その体は先生じゃ…



ねえ…ハル
今度は僕の
触ってよ…

さっきから
おマ〇コ疼いて
仕方ないんだ…



別にいいじゃないっ

先生だって
中々いいカラダ
してるよ♪



そう…
そこ……っ

…っん
もっと優しく…っ



ねえ…ハル…
分かる？

僕の胸が
高鳴ってるの…

先生のおマ○コも
きゅんきゅんって
ときめいてるよ

気持ち良すぎ…



ねえ…ハル…
舐めて
キレイにしてよ…

キレイにだよっ

…
うん…

ひゃんっ

んっ

ニ
ン
ン
ン

そんな…に…
吸っちゃ…
やっ…

ねえ…
ハル

もっと
したくないの…？

僕はハルの
モノだし
ハルは僕のモノ…

欲望のままにもっと
乱暴なことを
していいんだよ

俺は…

え…？
欲望のまま…？

おれ…は…

俺は…っ！

ちよっ
待って！

はあ？

やっぱり
お前とは
男としてセ○クスしたい！
男として
お前を愛したい！

そんなの
ダメだって！



僕のおマ○コ
壊れちゃ…っ
んっ

あっ
奥にあたっ…ん

いっ
気持ちいい



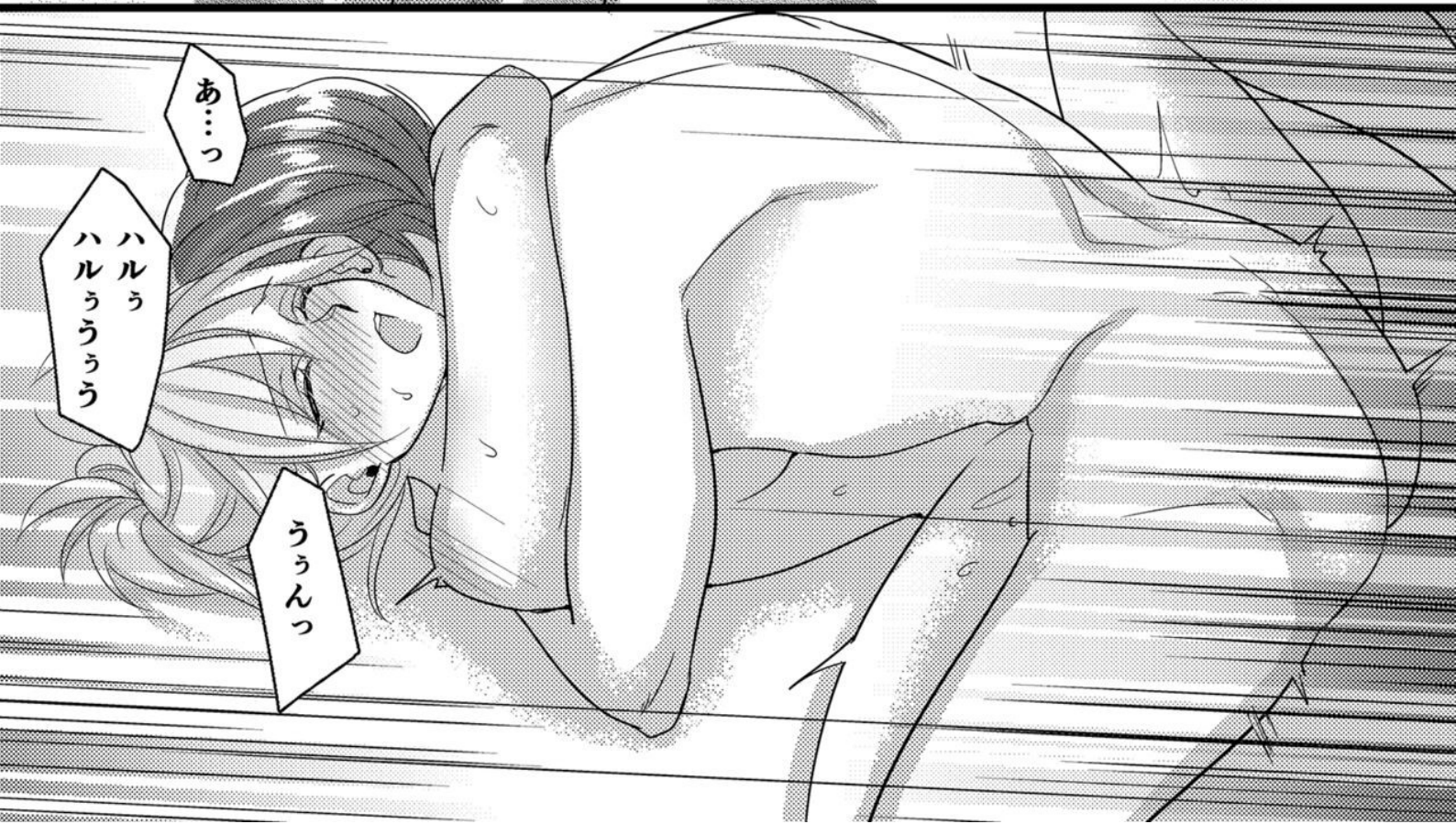
ひっ
卑怯だよ！
ハル！

やめ…っ
だっ
だめだ…って！



ちよ…とっ
入れ…ちゃ…

あっ
だ…っ



あ…っ

ハル
ハル
うううう

ううんっ



僕の中が
ハルの精子で
満たされてくう

ハルう
ハルううう

ナカが…
僕の子宮が…
あっ

なあ牙那…
やっぱり俺が
女になるのは
無理だつて…



はあ
はあ…



だからさ…
昨日みたいに
時々変身してさ…



へっ？



ハルさあ…っ
勝負は僕が
勝ったよね…(怒)

僕に何
指図してるの
かなあ…(怒)





かっ
体が勝手に…っ



あ…
はい…
きゃーっ

やっぱりハルは
僕が命令しないと
ダメみたいだねっ！
ほらっ
これ着てっ！



せっ
先生の体!?

これは…
精子…?



うわあ…っ

いいね

つづく…?

それじゃ着床までの
数日間…
先生の皮は
絶対脱がないこと…

そうだっハル
自分の精子で
自分が妊娠するって
どう?

そうだよっ
それはさっき僕に
中出しした精子